

実践名（時間） 新聞を活用した授業活動案

実施者（所属）新 聖子（登録日本語教員）

1 子ども	中高生（CEFR A2レベル）
2 目標	社会に意識を向け日本語で産出できる
3 活動	簡単な新聞記事の読解を通して語彙表現を増やす。また話題について話し合い多角的視点でものごとを捉えられるようにする。
4 工夫	文章に親しめるよう、記事の選択や活動の展開を丁寧に考えた。

資料（種類：ワークシート）

朝日中高生新聞 2025年8月31日 NEWS 一週間

●ことば：

はつえん けむり そうこうちゆう
発煙 煙 走行中（～している）

●見出し

しんかんせん
新幹線で モバイルバッテリー（ ）発煙（ ）

●内容

どこで？

なにが？

どうした？

そのあと どうなった？

●ことばを増やそう

けむり つか
「煙」を使うことば

ちゆう つか
「～中」を使うことば

朝日新聞 (bebetween 読者をつくる) 2020年1月18日をもとに作成

●「24時間営業する店」には どのような店がありますか。

●あなたは これらの店を 利用しますか。「はい」→ 何時ごろ 利用しますか。
「いいえ」→ どうして 利用しませんか。

しりょう み かんが
資料を見て 考えよう

●24時間営業の よい点

●24時間営業の よくない点・困った点

●あなたは 24時間営業の店は 必要だと思いますか。

